

創価大学 SOKA UNIVERSITY
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
URL: https://www.soka.ac.jp/



スーパーグローバル大学
創成支援事業公式サイト
創価大学特設ページ

QSアジア大学ランキング2020
外国籍教員指標 海外派遣交換学生指標
国内4位 国内8位



THE
大学インパクトランキング2019
世界101-200位 目標16
平和・公正 (国内4位相当) 世界61位



THE
世界大学ランキング日本版2020
国際性分野 国内6位



創価大学のオンライン交流

多様性のあるグローバル・キャンパス
韓国やタイなど海外現地で実施していた入試説明会を、今年はオンラインで実施しました。国際課では、留学生のための「バーチャル窓口」を設置し、いつでもどこからでも職員と相談できるサービスを開始。また、中国やインドなどの交流校とのオンライン学生交流イベントも開催。インターンシップの実施も開始しています。

海外の有識者による講演会やシンポジウム
海外の著名人を招いたさまざまなイベントをオンラインで開催しています。駐日南アフリカ共和国大使による講演会や核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のベアトリス・フィン事務局長による講演会、国連UNHCR協会による難民問題に関する映画上映会などを開きました。また、創立50周年記念行事の一環として、平和と人権をテーマにした「価値創造×SDGs」Weekを開催。各界の有識者を招いた基調講演やシンポジウム、学生主体のユースセッションや展示を1週間にわたり行いました。

開発しました。英語を教育言語とする授業のみで卒業できる English Medium Program などキャンパス内のグローバル化によつて、どこにいても世界とながれる環境があります。異文化理解や海外修学意欲が向上することで、学生のキャリア形成に大きく寄与。卒業生は、ビジネスや研究など世界中で活躍しています。

そのほか、本学はアフリカとの教育交流や共同研究にも注力してきました。アフリカ諸大学との交流は9カ国13大学となり、その中で、本学をはじめとした国内4機関とアフリカ諸大学との国際共同研究が、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)に採

択されました。また、2019年には日本と南アジアの学術交流促進のため、「南アジア研究センター」を開設しました。本センターを軸に、インドを中心とした諸大学と共同で講演会や国際シンポジウムなどを開催しています。さらに同年、「創価大学SDGs推進センター」も設立され、本学のSDGsに向けた取り組みや学生の活躍がより一層加速しています。世界的な危機の中、オンラインで海外大学と交流を行うCOIL型教育プログラムや自国にいながら海外の大学の授業を受けられるオンライン留学など、新たな学びの形を模索し、どんな状況下でも価値を創造していきける、創造的世界市民を育成していきます。

国際教養学部 学部長インタビュー

英語で学ぶ、リベラルアーツと異文化理解

国際教養学部では、普遍的な教養と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダーの育成を目指します。

グローバルリーダーに英語能力は欠かせません。国際教養学部の授業はすべて英語によるアクティブ・ラーニング。1年次に集中的に英語の基礎学力を育成し、2年次春学期には全員が留学します。また、グローバルリーダーは、多様な学問分野にわたる広い視野を持ち、深い異文化理解があることも重要です。4年間を通して、歴史・社会・文化、政治・国際関係、経済・経営の3分野から授業を幅広く履修します。さまざまな国の教員やクラスメイトとのアクティブラーニング、クリティカルライティング、ディスカッションを通して、グローバルな考え方を身につけます。

現在異なる8カ国出身の外国人教員が5割以上を占めており、多くの留学生が所属しています。このようなグローバル環境での授業により、学生の多様性への理解が深められると考えています。

逃れられない世界共通の課題がある現在の状況は、国際協力の大切さを肌で感じられる良い機会です。このようなときこそ、深い異文化理解を持つグローバルリーダーが必要です。英語力があるだけでなく、身につけた教養を基に最善の判断をし、世界規模の課題を解決に導く人材を育成していきます。

国際教養学部 学部長
ローレンス マクドナルド



SOKA UNIVERSITY

多様性ある社会を先導する
「創造的世界市民」育成の世界的拠点へ



創価大学 学長 馬場 善久

「人間教育の最高学府たれ」「新しき大文化建設の揺籃たれ」「人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ」。これらの建学の精神の下に創立された創価大学は、2021年に50周年を迎えます。創立50周年、またその先の10年に向かい、大学のグランドデザインを策定しました。

また、2014年のスーパーグローバル大学創成支援に採択され、グローバル・モビリティをはじめとする4つの取り組みを実践。国際社会を創造的に切り拓く「知力」と「人間力」を兼ね備えた「創造的世界市民」の育成を行ってきました。その成果を受け、2018年2月の中間評価では最高評価のS評価を獲得。

建学の精神に基づき
取り組みで
国内外から高評価を獲得

創価大学のスーパーグローバル大学創成支援事業の根底には「多様性」というファクターがあり、学内で触れられる多様性が著実に増加しています。事業開始当初より交流校数が世界62カ国・地域225大学(2020年5月現在)までに拡大。外国人留学生の受け入れは313名から2019年には878名に

他にもさまざまな海外・国内の大学ランキングにランクインしました。

各国との深い協力関係でさらなる国際貢献を目指す



世界62
カ国・地域
225
大学の
ネットワーク
(2020年5月現在)



増加しました。本学の海外事務所を通じて現地で入試説明会を開催したり、2017年から参画した難民高等教育プログラムで毎年1名の難民学生を受け入れたりと積極的に留学生の受け入れを行っています。経済的支援や国際学生寮、就職支援などのサポートも充実させ、外国人学生がより学修・研究に集中できる環境を整えることができました。

一方、日本人学生の留学派遣は557名から773名へと増加。カリキュラムと連動した留学プログラムや単位取得が可能な海外インターンシップ・ボランティアプログラムも新たに